

## 令和6年度事業計画

本年1月1日に発生した能登半島地震は大きな被害をもたらし、被災地では避難生活を強いられている被災者の方々、また、復興のために大勢の方々が尽力されています。当会も日本獣医師会に協力し、支援活動を行っていくとともに当市における災害発生時の動物救援体制の構築を強化していきます。

また、令和4年度は高病原性鳥インフルエンザの猛威により鶏肉・鶏卵の価格高騰により社会に大きな影響を与えたが、令和5年は大きな流行もなく安堵した。しかし、昨年9月九州で初めて豚熱が発生し、隣国の韓国ではアフリカ豚熱も発生しており、国内の防疫体制の強化が求められている。

本年、設立50周年を迎える当会は令和3年11月に北九州市と北九州市医師会、当会で「ワンヘルス推進宣言」を宣言のもと、人と動物の健康と環境の保全を推進する「One Health」の理念に従い、狂犬病やSFTS（重症熱性血小板減少症候群）などの人と動物の共通感染症の予防啓発活動をさらに積極的に行うとともに、災害時における飼育動物の救援体制の充実を図り、人と動物が共生する社会の推進及び動物福祉に貢献する。

### 記

#### ○ 主要事業

- 1 災害時の動物救済支援
- 2 狂犬病予防及びその知識の普及、啓発に関する事業
- 3 人と動物の共通感染症予防及びそれらの知識の普及、啓発に関する事業
- 4 動物愛護に関する事業
- 5 夜間救急動物診療事業
- 6 学校飼育動物支援事業
- 7 適正な管理に関する事業
- 8 (介助犬)盲導犬利用者支援
- 9 会員病院において動物愛護及び適正管理に係る普及活動
- 10 公衆衛生の向上に関する事業
- 11 畜産の振興に関する事業
- 12 野生動物保護支援
- 13 獣医学術向上（学会、講習会、研修会等の開催・支援）
- 14 公益社団法人日本獣医師会が実施する獣医師生涯研修事業への協力
- 15 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

#### ○ 事業推進事項

- 1 北九州市災害時動物救援体制の組織強化、行政や関係機関との協働事業の実施
- 2 鳥インフルエンザ・豚熱などの感染症の防疫体制強化への協力
- 3 本年、九州地区獣医師大会・学会“熊本”への参加協力